



***U*PORTS 6**

4 入力 / 2 出力、+48V ファンタム電源付きレ
コーディング USB インターフェース



ユーザーズマニュアル





電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

本体やACアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのにお気づきの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理を依頼する

変な音・
においがしたら、
煙が出たら



警告表示の意

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大げがなどの人身事故が生じることがあります



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す
記号

行為を禁止
する記号

行為を指示
する記号



警告

火災



感電



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大げがの となります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

内容物

はじめに	4
機能	5
フロントパネル	6
リヤ/サイドパネル.....	7
Mac ドライバのインストール	8
ソフトウェアコントロールパネル.....	10
Windows ドライバのインストール.....	11
ソフトウェアコントロールパネル.....	14
ハードウェアの接続	18
最低システム要件.....	19
仕様	20
修理について	21

はじめに

ICON UPorts 6 シリーズ USB オーディオレコーディングインターフェースをお買い上げいただき、ありがとうございます。弊社はお客様に本製品を末永く御愛用いただけるものと確信いたしておりますが、万一お客様にご満足いただけない場合でも、ご満足いただけるよう努めて参ります。

本書には、UPorts 6 シリーズ USB オーディオレコーディングインターフェースの特徴、フロントパネル、サイドパネルの詳しい解説と、設定方法、使用方法、そして主要諸元が記載されています。

また、同梱の製品保証書にご記入の上投函していただきますと、www.iconproaudio.com にてオンラインサポートをご利用いただけるようになります。保証書のご送付後には、本製品のほか、ICON 製品に関する最新情報をお届けします。他の電子製品と同様、本製品につきましても御購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万が一修理のため本製品を弊社に返送していただく必要がある場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

照会用シリアルナンバー：

ご購入店舗名：

ご購入日：

同梱品

- UPorts 6 USB レコーディングインターフェース
- 本ユーザマニュアル
- ドライバソフトウェア CD
各言語版電子版取扱説明書とクイックスタートガイド（PDF）
- USB ケーブル

機能



ICON UPorts 6 USB レコーディングインターフェースは、USB 接続可能なオーディオ入出力モジュールです。主な機能：

- 24ビット 96/192KHz 4入力 /2 出力 USB レコーディングインターフェース。
- 4x2 アナログ I/O フルデュプレックス録音再生
- 独立ゲインコントロールとファンタム電源スイッチ付きデュアルマイク / 楽器用プリアンプ
- 1/4 インチ (6.35mm)TRS ジャックのつのアナログライン入力 2 個
- 1/4 インチ TRS ジャックによるアナログ出力 2 個
- 1 x 1 – 16 チャンネル MIDI I/O
- フロント・パネルの直接モニタリングつまみ
- ソース割当可能なヘッドホン出力 2 個。専用ボリュームコントロール付き。
- ソフトウェアコントロールパネルによるフレキシブルチャンネルルーティング。
- 高速 USB2.0 装着。USB バス電源
- DirectSound、WDM、ASIO2.0 をサポート
- Mac OS (Intel-Mac)、Windows XP、Vista (32 ビット /64 ビット)、Windows 7 (32 ビット /64 ビット)、Windows 8 (32 ビット /64 ビット)、Windows 10 (64 ビット) 対応
- フルデュプレックス、同時録音再生
- 堅牢なアルミニウム筐体

フロントパネル

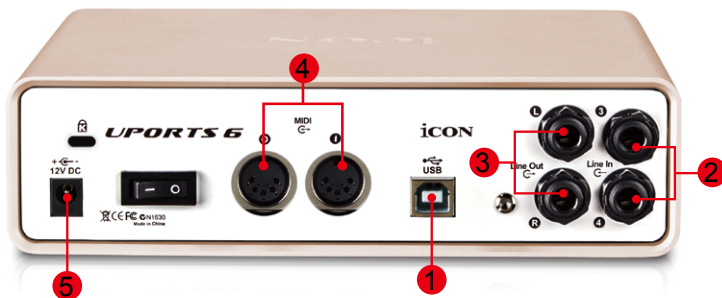


1. 楽器およびマイクレベル不平衡入力。このハイブリッドコネクタには、標準 3 ピン XLR プラグまたは 1/4 インチ TS コネクタが接続できます。
2. **48V ファンタム電源スイッチ**
このスイッチを押すと、それに関連した XLR 入力に 48V ファンタム電源が供給されます。このファンタム電源はほとんどのコンデンサマイクに使用できます。
3. **入力ゲインレベルコントロール 1/2**
関連アナログマイク / 楽器 / ライン入力の入力レベルコントロール用ポテンシオメータ。
4. **直接モニタリングつまみ**
このポテンシオメータは、PC 出力と実際のアナログ入力のオーディオ信号の流れを制御するものです。

Comp (反時計回り)	PC オーディオ信号のみがモニターされます。
Direct Out (時計回り)	アナログ入力 (Mic/Inst 1&2) のみがモニターされます。
Mix (中央)	PC とアナログ入力の両方のオーディオ信号がモニターされます。

5. **HP モニター 1 出力**
この出力ジャックは、標準の 1/4 インチステレオ TRS ヘッドホンコネクタを受け入れます。
6. **HP モニター 1 ボリュームコントロール**
このポテンシオメータは、HP モニター 1 の出力レベルを制御します。
7. **HP モニター 2 出力**
この出力ジャックは、標準の 1/4 インチステレオ TRS ヘッドホンコネクタを受け入れます。
8. **HP モニター 2 ボリュームコントロール**
このポテンシオメータは、HP モニター 2 の出力レベルを制御します。

リヤ / サイドパネル



1. USB 2.0 コネクター

付属のケーブルで、本器とご使用の Mac または PC の USB コネクターとを接続します。ご使用の Mac または PC が USB2.0 接続可能でなければ、UPorts 6 をフルスピードで動作させることはできません。

2. ライン入力 3/4

-10dB ラインレベルの不平衡アナログ入力用標準 / インチコネクター。

3. ライン出力 1-2

+6dBu ラインレベルの不平衡アナログ出力用標準 / インチコネクター。

4. MIDI I/O コネクター

MIDI 入出力用標準 5 ピン DIN コネクター。

5. 12V/1A 電源アダプター

ここに、付属の電源アダプターを接続します。

注意: UPorts 6 は、付属の電源アダプターを接続しなければ動作しません。USB バス電源では、UPorts 6 を動作させるための十分な電源を供給することはできません。

Mac ドライバのインストール

次の手順に従って、UPorts 6 シリーズ USB レコーディングインターフェースとそのドライバをインストールしてください。

1. Mac の電源を入れる

注意: ここではまだ Mac に UPorts 6 シリーズ デジタルオーディオインターフェースを接続しないでください

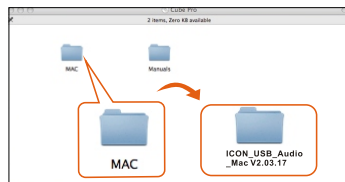


図 1

2. CD-ROM にドライバ CD を挿入する

CD-ROM に本器付属のドライバ CD を挿入すると、図 2 のようなポップアップウィンドウが表示されます。「Mac」フォルダをクリックするとインストールファイルの一覧表が開きます。「ICON_UPorts 6.mpkg」をクリックしてください。

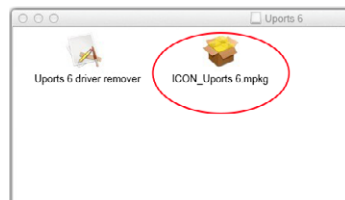


図 2

3. ようこそ」画面が表示される

図 3 のような「ようこそ」画面が表示されたら「継続」を選択してください。



図 3

4. インストール場所を設定する

お好みのインストール場所を設定したい場合は「インストール場所を変更する」ボタンをクリックします。それ以外は、「インストール」ボタンをクリックしてください。

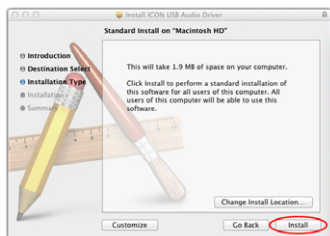


図 4

5. インストールの開始

ドライバのインストールが開始されます。このプロセスが完了するまでお待ちください。

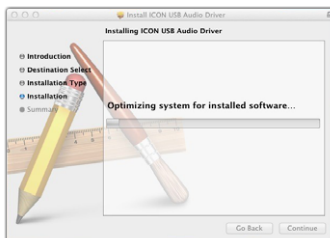


図 5

6. インストールの完了

ドライバのインストールが完了しました。「閉じる」ボタンをクリックしてください。

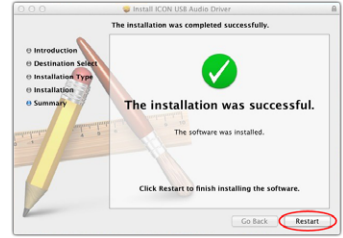


図 6

7. デスクトップにソフトウェアコントロールパネルのショートカットロゴをコピーする

上で示した「Mac」フォルダを開きます。「UPorts 6」ソフトウェアパネルのショートカットロゴをコピーし、デスクトップに貼り付けてください。

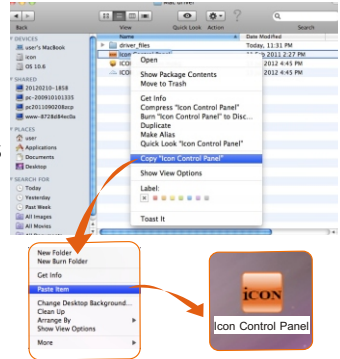


図 7

8. ソフトウェアコントロールパネルを起動する

たった今デスクトップにコピーした UPorts 6 ソフトウェアコントロールパネルのショートカットロゴをクリックすると、ソフトウェアコントロールパネルが起動します。

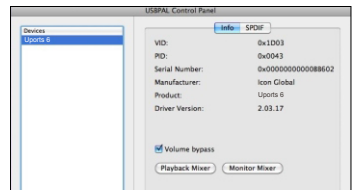


図 8

9. オーディオ MIDI セットアップ

「オーディオ MIDI セットアップ」ウィンドウを開き、下の図 9 のように、UPorts 6 デバイスのセットアップが正しく行なわれたかを確認してください。UPorts 6 デバイスがシステムセットアップに表示されない場合、インストールが正しく行なわれていないので、もう一度「ドライバのインストール」手順を実行してください。

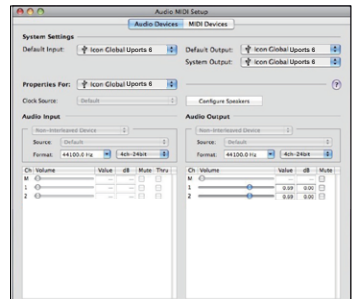


図 9

ソフトウェアコントロールパネル

「再生」ミキサと「モニタ」ミキサは、マトリックスミキサと同様に作動します。対応する入力または出力チャンネルレベルを起動して調整してください。これらは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

再生ミキサ

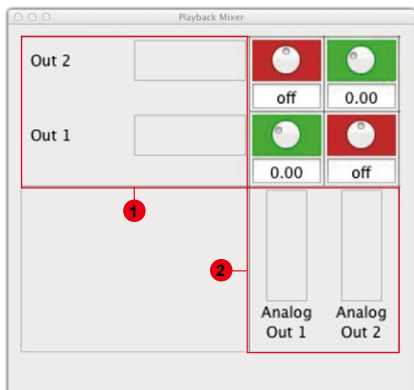


図 10

1. ソフトウェア出力レベルメーターリング

UPorts 6 – チャンネル 1、2 出力レベルメーターリング
ソフトウェア入力チャンネルの入力レベルを表示します。

2. ハードウェア出力レベルメーターリング

UPorts 6 – チャンネル 1、2 出力レベルメーターリング
ハードウェア出力チャンネルの出力レベルを表示します。

モニタミキサ

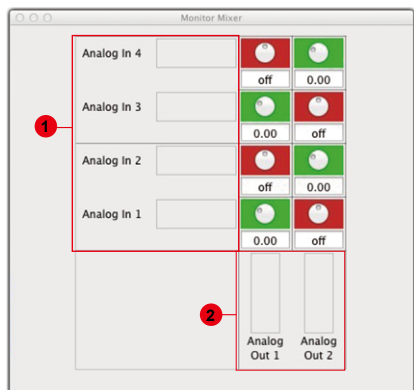


図 11

1. ハードウェア入力レベルメーターリング

UPorts 6 – チャンネル 1、2、3、4 入力レベルメーターリング
ハードウェア入力チャンネルの入力レベルを表示します。

2. ハードウェア出力レベルメーターリング

UPorts 6 – チャンネル 1、2 出力レベルメーターリング
ハードウェア出力チャンネルの出力レベルを表示します。

Windows ドライバのインストール

次の手順に従って、UPorts 6 シリーズ USB レコーディングインターフェースとそのドライバをインストールしてください。

1. コンピュータの電源を入れる

注意: ここではまだコンピュータに UPorts 6 シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続しないでください

2. CD-ROM にドライバ CD を挿入する

CD-ROM に本器付属のドライバ CD を挿入すると、図 12 のようなインストール画面が表示されます。ドライバをインストールするには、「Windows ドライバ」をクリックします。

注意: インストール画面が自動的に表示されない場合、CD のフォルダで、「セットアップ」をダブルクリックしてください。



図 12

3. インストールウィザードが表示される

図 13 のような「よろこそ」画面が表示されたら「次へ」を選択してください。

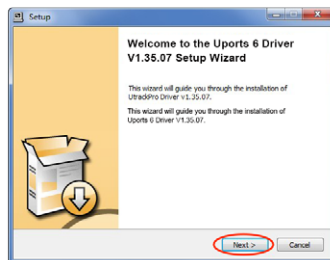


図 13

4. ライセンス契約書

「ライセンス契約書の条項に同意します」にチェックマークを入れ、「次へ」をクリックします。

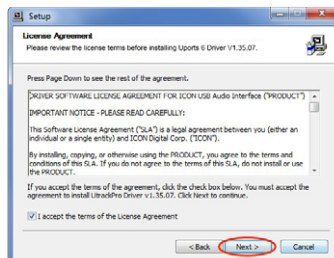


図 14

5. ドライバインストールの確認

ドライバインストールの確認画面が表示されたら「次へ」をクリックします。

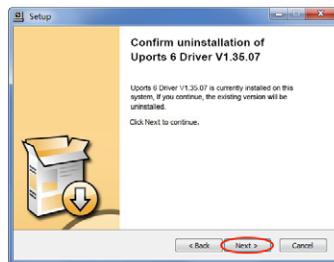


図 15

6. ドライバセットアップ

図 16 に示すようにドライバをインストールする場所を選択して「次へ」をクリックします。

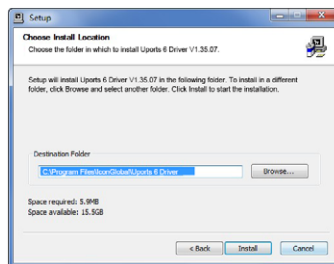


図 16

7. インストールの開始

インストールプロセスが開始されます。ご使用のコンピュータの性能によってこのプロセスに要する時間が異なります。プロセスが終了するまでお待ちください。

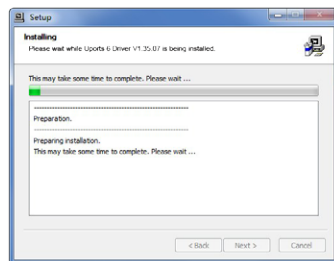


図 17

8. ソフトウェアインストールウィンドウ

図 18 のようなウィンドウが表示されます。「とにかくこのドライバソフトウェアをインストールする」を選択してください。

注意: このようなメッセージが表示されますが、UPorts 6 シリーズのドライバは Windows XP、Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 10 でサポートされることが試験済みですからご安心ください。

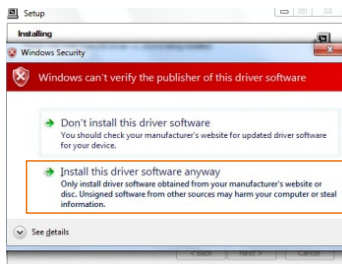


図 18

9. セットアップの完了

図 19 のようなウィンドウが表示されます。「次へ」を選択してください。

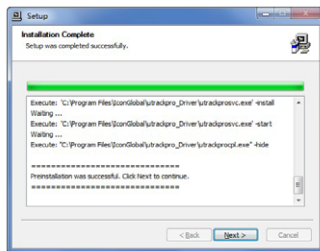


図 19

10. UPorts 6 シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続する

ではここで、コンピュータの USB ポートに UPorts 6 シリーズデジタルオーディオインターフェースを接続して、「終了」をクリックしてください。

注意: UPorts 6 シリーズオーディオインターフェースは USB 2.0 しかサポートしません。ですから、ご使用のコンピュータには USB 2.0 が装着されていないとなりません。

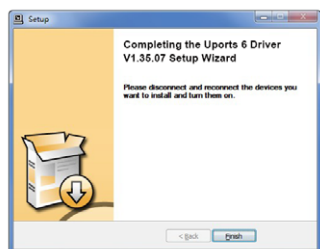


図 20

11. デバイスドライバソフト

ウェアのインストール UPorts 6 ドライバがインストールされます。

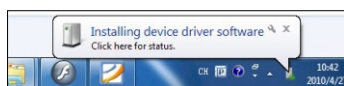


図 21

12. ドライバのインストールの完了

UPorts 6 ドライバのインストールが完了したので、使い始めることができます。

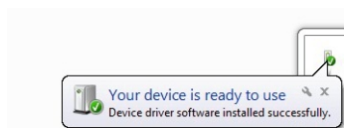


図 22

13. ソフトウェアコントロールパネルを起動する

システムトレイの UPorts 6 ログををクリックすると、ソフトウェアコントロールパネルが起動します (14 ページ)。

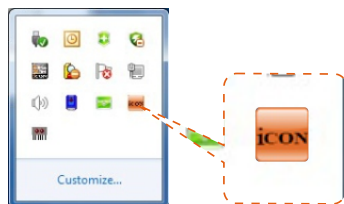


図 23

ソフトウェアコントロールパネル

1. サンプリングレートの設定

図 24 のプルダウンウィンドウで、44.1kHz ～ 192kHz のいずれか希望のサンプリングレートを選択してください。選択した後で「適用」をクリックすると、その値に設定されます。

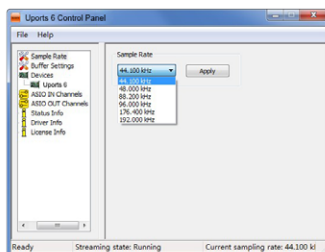


図 24

2. バッファサイズの設定

「ストリーミング」と「ASIO」のバッファサイズを選択することができます。選択した後で「適用」をクリックしてください。

注意: クリック音が聞こえたら、さらに大きなバッファサイズに設定を変更してください。一番大きなバッファサイズを選択した場合でもクリック音が聞こえることがあります。これは、ご使用のコンピュータの性能が不十分なため、タスクを処理しきれないことを意味します。(これは、UPorts 6 シリーズデジタルオーディオインターフェースから発生する音ではありません)

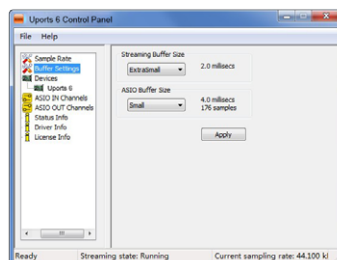


図 25

3. デバイスの設定

UPorts 6 デバイスのシリアル番号と製品 ID が表示されます。表示されない場合、デバイスが正しく接続されていないことを意味しています。もう一度「ドライバのインストール」手順 (11 ページ) を繰り返してください。

4. モニタミキサ

このボタンをクリックすると、「モニタミキサ」(15 ページ) が起動します。

5. 再生ミキサ

このボタンをクリックすると、「再生ミキサ」(16 ページ) が起動します。

6. S/PDIF ステータスとパススルー

S/PDIF デバイス信号ステータスを表示します。

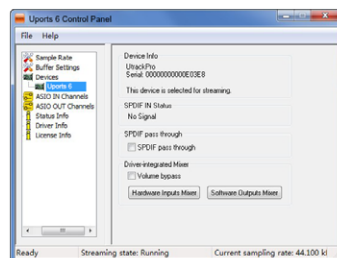
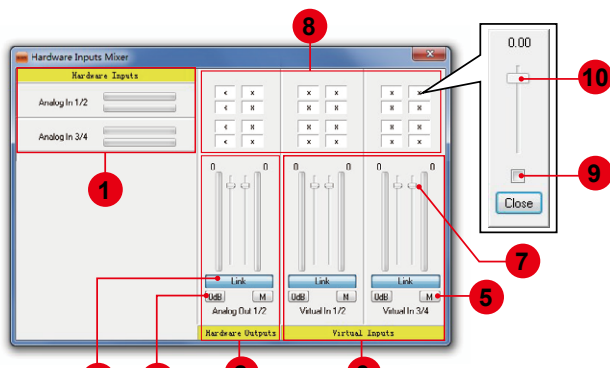


図 26

7. S/PDIF パススルー

S/PDIF 信号パススルーが必要な場合、ボックスにチェックマークを入れてください。

モニタミキサ



1. ハードウェア入力レベルメーターリング

UPorts 6 - チャンネル 1、2、3、4 入力レベルメーターリング
ハードウェア入力チャンネルの入力レベルを表示します。

2. ハードウェア出力レベルメーターリング

UPorts 6 - チャンネル 1、2、3、4 出力レベルメーターリング
ハードウェア出力チャンネルの出力レベルを表示します。

3. 仮想入力レベルメーターリング

UPorts 6 - 仮想 1、2、3、4 入力レベルメーターリング
仮想入力チャンネルの入力レベルを表示します。

4. リンクスイッチ

両方のチャンネルを同時に調整するスイッチ。

5. ミュートスイッチ

対応するチャンネルをミュートするスイッチ。

6. 「0dB」スイッチ

対応するチャンネルを瞬時に「0dB」レベルに調整するスイッチ。

7. ゲインコントロールフェーダー

これをスライドして、対応するチャンネルのゲインレベルを調整します。

8. 入力 & 出力マトリックススイッチ

ハードウェア入力チャンネルとそれに対応するハードウェア出力チャンネルとのルートをオンオフするスイッチ。このマトリックスは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

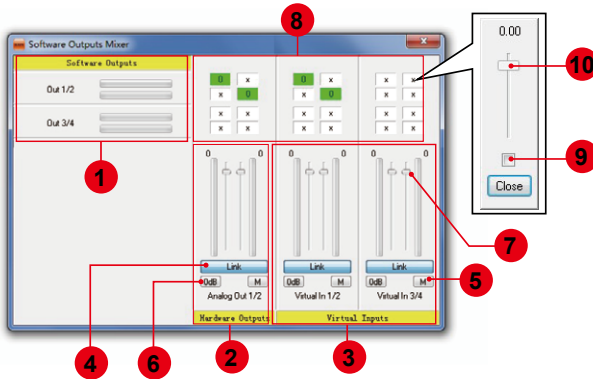
9. 入力 & 出力マトリックスミキサ

このボックスにチェックマークを入れるとミキサが起動します。

10. 入力 & 出力マトリックスミキサゲインコントロール

対応するハードウェアチャンネルのゲインを調整します。調整が終わったら、「閉じる」をクリックしてウィンドウを閉じます。

再生ミキサ



1. ソフトウェア出力レベルメーターリング

UPorts 6 - チャンネル 1、2、3、4 出力レベルメーターリング
ソフトウェア入力チャンネルの入力レベルを表示します。

2. ハードウェア出力レベルメーターリング

UPorts 6 - チャンネル 1、2 出力レベルメーターリング
ハードウェア出力チャンネルの出力レベルを表示します。

3. 仮想入力レベルメーターリング

UPorts 6 - 仮想 1、2、3、4 入力レベルメーターリング
仮想入力チャンネルの入力レベルを表示します。

4. リンクスイッチ

両方のチャンネルを同時に調整するスイッチ。

5. ミュートスイッチ

対応するチャンネルをミュートするスイッチ。

6. 「0dB」スイッチ

対応するチャンネルを瞬時に「0dB」レベルに調整するスイッチ。

7. ゲインコントロールフェーダー

これをスライドして、対応するチャンネルのゲインレベルを調整します。

8. 入力 & 出力マトリックススイッチ

ハードウェア入力チャンネルとそれに対応するハードウェア出力チャンネルとのルートをオンオフするスイッチ。このマトリックスは大変便利で、入出力が非常に柔軟に行なえます。任意の入力を任意の出力に対応させることができます。

9. 入力 & 出力マトリックスミキサ

このボックスにチェックマークを入れるとミキサが起動します。

10. 入力 & 出力マトリックスミキサゲインコントロール

対応するハードウェアチャンネルのゲインを調整します。調整が終わったら、「閉じる」をクリックしてウィンドウを閉じます。

ハードウェアの接続

UPorts 6 シリーズデジタルオーディオインターフェースの出力を、ご使用のアンプやパワードモニターやサラウンドシステムに接続してください。2チャンネルステレオ動作です。デフォルト出力はチャンネル1と2です。

ヘッドホンでモニタする場合、デバイスのヘッドホン出力にヘッドホンを接続してください。

デバイスのアナログ入力には、マイクや楽器、またはその他のラインレベルアナログソースを接続してください。

同軸デジタル I/O に S/PDIF デジタルデバイスを、MIDI I/O に MIDI デバイスをそれぞれ接続してください。



最低システム要件

重要 : UPorts 6 シリーズデジタルオーディオインターフェースは、Mac OS (Intel-Mac)、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 (32 ビット /64 ビット)、Windows 8 (32 ビット /64 ビット)、Windows 10 (64 ビット) で動作します。UPorts 6 シリーズデジタルオーディオインターフェースは、Windows 98 や Windows Me では動作しません。Windows XP の場合、SP1 またはそれ以降がインストールされている必要があります。Windows アップデートサイトにアクセスし、マイクロソフトが提供している現行のアップデートや修正がインストールされていることを確認してください。Mac の場合、UPorts 6 シリーズデジタルオーディオインターフェースは Mac OSX version 10.5.5 またはそれ以降 (Intel-Mac のみ) でしか動作しません。それ以前のバージョンの Mac OS では動作しません。

Windows OP:

Pentium 4 -1.0 GHz or higher
1.0 GHz RAM
DirectX 8.1 or higher
Windows XP (SP1), Windows 2000 (SP3),
Windows Vista or Windows 7

Mac OP:

Intel-Mac 1.0 GHz or higher
1.0 GHz RAM
OS 10.5.5 or later

仕様

Mic/Inst Inputs 1/2 (Balanced; at Minimum Gain):

Frequency Response	22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range	100dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio	-100dB, A-weighted
THD+N	<0.0061% (-90dB)
Crosstalk	-100dB @ 1kHz
Maximum Input level	-3.8dBu, typical
Input Impedance	Inst in: 500K Ohms, typical Mic in: 1.8K Ohms, typical
Adjustable Gain	> 50dB
Total Gain Range	+54dB

Line Inputs 3/4(TRS):

Frequency Response	22Hz to 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range	100dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio	-100dB, A-weighted
THD+N	<0.0061% (-90dB)
Crosstalk	-100dB @ 1kHz
Nominal Input Level	Balanced: +4dBu Unbalanced: -10dBV
Maximum Input level	Balanced: +10.2dBu, typical Unbalanced: +2.0dBV, typical
Input Impedance	10K Ohms, typical

Line Outputs 1-2 (TRS):

Frequency Response	22Hz 22kHz (+/-0.1dB)
Dynamic Range	102dB, A-weighted
Signal-to-Noise Ratio	-102dB, A-weighted
THD+N	<0.003% (-90 dB)
Crosstalk	-100dB @ 1kHz
Nominal Output Level	Balanced: +4dBu Unbalanced: -10dBV
Maximum Output Level	Balanced: +10.2dBu, typical Unbalanced: +2.0dBV, typical
Output Impedance	150 Ohm
Load Impedance	600 Ohm minimum

Headphone Outputs: 1 & 2 (at Maximum Volume; Into 100 Ohm load):

Frequency Response	22Hz to 22kHz (+/-1dB)
Power into Ohms	90 mW into 100 Ohms
THD+N	<0.06% (-66dB)
Signal-to-Noise Ratio	-90dB, A-weighted
Max Output Level into 100 Ohms	+2.0dBV, typical
Output Impedance	75 Ohm
Load Impedance	32 to 600 Ohms

修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター (<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>) でご確認ください

1. FAQ (よくあるご質問)
2. ダウンロード
3. 詳細情報
4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンライン ACS (自動カスタマーサポート) でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。

不良品を修理・交換のために返送する場合：

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください：

香港にお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：

ICON (Asia) Corp:
Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,
No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street, Fotan,
Sha Tin, N.T., Hong Kong.

ヨーロッパにお住まいの場合は、
製品をこちらまで返送してください：

Servicecenter-Siedler
Am alten Bach 18
41470 Neuss
Germany
Tel: +49 2137 7864212
www.servicecenter-siedler.de
www.facebook.com/ServiceCenterSiedler

5. その他更新情報は、弊社ウェブサイト (www.iconproaudio.com) をご覧ください。

iCON
Pro Audio



www.iconproaudio.com
support@icon-global.com



ICON HOME



ICON SERVICE CENTER

